

第3期石川中央都市圏ビジョン骨子案についてのパブリックコメントにおけるご意見の概要と金沢市の考え方

- 1 募集期間：令和7年12月16日（火）～令和8年1月14日（水）
- 2 提出方法：メール、郵便、ファクシミリ又は窓口へ持参
- 3 意見数：14件（意見者数 3人）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	<p>災害対応力の位置づけが施策体系図では「生活関連機能サービス」の一項目である一方、独立した新たな方向性として詳述されており、体系上の位置づけが混迷しているため、既存の3本柱に並ぶ「第4の方向性」なのか、あるいは全施策を貫く「最上位の横断的原則」なのかを定義し、階層構造を明確に図示されたい。</p>	<p>令和6年能登半島地震は本圏域にとって重要な出来事であるため、本地震を教訓とした取組をわかりやすく発信してまいります。</p>
2	<p>各自治体が単独で実施可能な事業の列举を排し、「広域連携によって初めて可能となる価値」を主軸とした施策の再選別を求める。</p>	<p>いただいたご提案については、重要な事項と認識しており、適切な記載となるよう努めてまいります。</p>
3	<p>優先順位を明確にし、連携中枢都市圏交付金等の財源見通しと、各市町の事務負担調整、専門人材の共同確保といった実効性ある推進体制を付記すべきである。</p>	
4	<p>「“住みやすさ” 日本一」等の抽象的な目標に対し、出生率、待機児童数、利便性スコア、あるいは幸福度指標など、住民が客観的に成果を評価し得る「確認指標（KPI）」を主要施策ごとに設定されたい。</p>	<p>成果指標については、これまでの取組成果や課題の総括を踏まえて、適切な指標になるよう設定してまいります。</p>

5	<p>行政側の「共同運用」という手段が自己目的化せぬよう、連携によって享受できる具体的便益（サービスの質向上、行政コストの削減効果等）を平易な言葉で記述されたい。</p>	<p>計画の内容が圏域市民に伝わりやすいよう、わかりやすい発信に努めてまいります。</p>
6	<p>圏域内での人口の奪い合いを避け、各市町の特性を活かした「職・住・遊」の機能分担に基づく、持続可能な広域人口戦略を提示されたい。</p>	<p>圏域各市町で連携し、特色を活かした魅力あるまちづくりと地域活性化を通じて、移住促進に取り組んでまいります。</p>
7	<p>広域での不登校支援、二次交通網の整備、6市町共通のマイナンバーカード利活用など、仕組みの構築に踏み込むべきである。</p>	<p>石川中央都市圏教育支援センター連絡会を開催し、相談方法に関する研究等を行うことで、不登校の課題解決に取り組んでおります。</p> <p>二次交通網の整備につきましては、圏域各市町や交通事業者等が連携し、圏域内をスムーズに移動できる交通サービスの実現や広域的な公共交通網の構築に取り組んでおります。</p> <p>6市町共通のマイナンバーカード利活用については、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>

8	<p>全ての施策において、理念の追求と同時に「社会的コストの最小化」の視点を持つべきである。特に環境やデジタルの分野では、理想だけを掲げると家計や中小企業に過度な負担が生じる懸念がある。「やるか・やらないか」ではなく「いかに現実を直視し、適切な順序で実装するか」というプロセスの質を重視されたい。</p>	<p>いただいたご提案については、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
9	<p>提案されている施策が抽象的であり、具体的な実施方法やスケジュールが示されていないため、実現可能性が不明確で、一般市民には骨子案のため漠然としており判断に迷う。</p>	

10	<p>防災・減災施策について、「検討」に留めず、5年間の計画期間内におけるマニュアル策定、合同訓練、共同備蓄等の具体的な工程表（タイムライン）を明示されたい。</p>	<p>各施策の内容等については、具体の事業ごとに検討していきたいと考えており、いただいたご提案については、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
11	<p>カーボンニュートラルは、不可欠な戦略である一方、不適切な設計は家計や中小企業へのコスト転嫁、エネルギー安全保障の不安定化、産業空洞化を招くリスクを孕んでいる。単なる「数値目標の自己目的化」を避け、以下の三本柱を軸とした現実的なロードマップを明示すべきである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 段階的設計：電力安定化（送蓄電・系統強化）を先行させた上での産業転換。 2. 分野別最適：発電、輸送、建築等、各分野の特性に応じた最適解の実装。 3. 人材育成：技術、政策、データ活用を理解し、現場実装を担う専門人材の共同確保。 	
12	<p>能登半島地震の教訓を活かすとされているが、具体的な対策や訓練の内容が示されていない。災害時の広域避難体制の構築において、地域間の連携がどのように行われるのかが不明。</p>	
13	<p>観光・経済の振興策が一時的なものでなく、持続可能な形で地域経済に寄与するのかが不明瞭である。観光客の増加が地域住民にどのような利益をもたらすのか、具体的な利益分配の仕組みが必要に見える。</p>	

14	<p>「金沢港の整備推進による観光資源化」について 金沢港の港湾及び後背地などに以下の施策を実施することで、 観光資源として活用整備する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. のと里山街道を延伸させ、道の駅を設置2. 高波避難用の展望台の設置3. 金沢港大橋の改築4. 北陸鉄道 浅の川線の延伸5. 周辺の自転車道や遊歩道の整備	<p>いただいたご提案については、多くの課題があることから 実現は難しいと考えておりますが、貴重なご意見として参考 にさせていただきます。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。